

名古屋大学

国際言語文化研究科

全学向け授業案内

「がいこくごとくべつけんしゅう外国語特別研修コース」について

こくさいげんごぶんかけんきゅうかぜんがくむじゅうぎょう 国際言語文化研究科全学向け授業は「がいこくごとくべつけんしゅう外国語特別研修コース」からなっています。
がいこくごとくべつけんしゅう「外国語特別研修コース」は、えんしゅうしゅたいいわゆる演習を主体とした、しょうにんずう少人数による、がいこくごじゅうぎょう外国語授業です。
みな皆さんの積極的せっきよくてきな受講じゅうこうを期待きたいしています。

2011年度後期

がくぶ がくせい みな
(学部学生の皆さんへ)

「全学向け授業」として登録する場合は、本冊子に従って手続きをしてください。全学教育科目の「言語文化Ⅱ」として登録する場合は、教養教育院作成の「履修に関する注意事項」に従って教養教育院事務室にて手続きをしてください。

I. 授業科目 (授業時間割及び授業要覧は11ページ以降に掲載)

外国語特別研修コース

科目	目	開講期間	科目	目	開講期間
		後期			後期
英 語	特別英語セミナー (Writing) a	—	ドイツ語	Level 1 a	—
	特別英語セミナー (Writing) b	○	フランス語	Level 1 b	○
	特別英語セミナー (Presentation) a	—	ロシア語	Level 2 a	—
	特別英語セミナー (Presentation) b	○	中国語	Level 2 b	○
	特別英語セミナー (Reading) a	—	スペイン語	Level 1 a	—
	特別英語セミナー (Reading) a	○	朝鮮・韓国語	Level 1 b	○
	特別英語セミナー (Certificate Tests) a	—	ポルトガル語	Level 1	—
	特別英語セミナー (Certificate Tests) b	○	ラテン語	Level 1	○
	特別英語セミナー (Specific Purposes) a	—	古典ギリシア語	Level 1	—
	特別英語セミナー (Specific Purposes) b	○	イタリア語	Level 1	○
		—	ベトナム語		—
		—	オランダ語		—
		—	アイヌ語		○
		—			—
		—			—

注) Level 1, 2は、この順で授業内容が高度になります。

II. 授業期間・休業日・休講日・授業時間帯

1. 授業期間

後期：2011年10月1日(土)～2012年1月27日(金)

2. 休業日

冬期休業期間：2011年12月28日(水)～2012年1月7日(土)

3. 休講日

大学入試センター試験実施準備：2012年1月13日(金) (予定)

4. 定期試験期間

後期：2012年1月30日(月)～2月10日(金)

5. 授業時間帯

第1時限 8：45～10：15

第2時限 10：30～12：00

第3時限 13：00～14：30

第4時限 14：45～16：15

第5時限 16：30～18：00

III. 受講対象者

受講対象者は、本学の学部学生、大学院生、研究生等及び本学職員です。

ただし、科目等履修生、聴講生は受講できません。

IV. 休講等

各授業科目の休講、教室変更、授業に関わることは、全学教育棟本館1階「全学向け授業掲示板」(9ページ配置図参照)で通知します。

V. 成績の通知

成績評価の通知は以下のとおり行います。

1. 学部学生、大学院生、研究生等については、各部署長あてに通知します。
2. 職員については、本人に通知します。

VI. 受講の辞退

事情により学期途中で受講できなくなった場合には、文系教務課事務室(国際言語文化研究科)窓口で交付される所定の「全学向け授業辞退届」を、必ず授業担当教員に提出してください。この手続きを行わずに受講放棄すると、以後、受講を認めないことがあります。

VII. 受講申込手続き

外国語特別研修コース

特別英語セミナー

[10月3日(月)～7日(金)]から開講します。

受講手続きは、次のとおりです。

1. 受講申込カード配付場所及び申込場所
文系総合館1階 文系教務課事務室(国際言語文化研究科)窓口(10ページ配置図参照)
2. 申込期間及び時間

期間: 2011年9月21日(水)、22日(木)

時間: 9:00～12:00、13:00～17:00

*英語受講申込カードは、この期間以外には配付しません。また、受講申込は、申込期間以降は受け付けませんので注意してください。ただし、次の学生については、受講申込期間後[10月3日(月)から10月6日(木)まで]も、申込を受け付けます。申込の詳細は、「NUPACE学生等の受講申込について」(3ページ参照)を読んでください。

- ・名古屋大学短期交換留学受入れプログラム(NUPACE)による留学生(以下「NUPACE学生」という。)のうち2011年度後期新入学生
- ・名古屋大学国際化拠点整備事業(グローバル30)プロジェクトによる国際プログラム留学生(以下「G30学生」という。)
- ・研究生のうち2011年度後期新入学生

3. 受講申込カード記入・提出について

配付するカード 黄色(4連)

受講希望者は、「受講申込カード」に必要事項を記入のうえ、申込期間中に文系教務課事務室(国際言語文化研究科)窓口へ提出してください。特に以下の①・②については、注意事項をよく読んで記入してください。提出の際には、〈本人保存用〉及び〈教員保存用〉カードを返却しますので、〈教員保存用〉カードは第1回目の授業時に授業担当教員に渡してください。また、〈本人保存用〉カードに記載してある受講受付番号により受講調整結果を掲示しますので、結果の確認には必ずそのカードを持参してください。なお、受講する授業が決定した後も、〈本人保存用〉カードは保管しておいてください。

① 『TOEIC 等点数』

「特別英語セミナー」の受講を希望する人は全て、TOEIC 公開試験等の英語検定試験の点数を受講申請の際に記入する必要があります。TOEIC 等の受験は各自で行ってください。

TOEIC 等の英語検定試験の結果(点数)を確認して申請してください。なお、申請時に下記基準を満たしていることを証明する得点証明書(有効期限は2年間)を持参してください。得点証明書は原本を提出してください。確認・複写後、返却します。下記基準を満たしていない場合は、受付できません。

名 称	申請基準
TOEFL-ITP	527以上
TOEFL-PBT	527以上
TOEFL-CBT	197以上
TOEFL-iBT	71以上
TOEIC	663以上

※いずれの検定試験も正規の公開試験の結果のみを基準とする(TOEFL-ITPを除く)。

② 『希望するクラス』

受講したいクラスを1つ記入してください。

4. 受講調整結果の発表

受講希望者が受講可能人数を超える場合は、提出された「受講申込カード」のデータをもとに受講調整を行い、各授業の受講者を決定します(決定後の問い合わせには応じません)。

定員に限りがあるので、受講希望者が全員受講できるとは限りません。

発表日時及び発表場所 (9月21日、22日申込分)

日 時: 2011年9月29日(木) 9:00~

場 所: 全学教育棟本館1階「全学向け授業」掲示板(9ページ配置図参照)

5. 授業を無断で欠席した場合は、受講放棄とみなしますので、ご注意ください。この件に関する質問に対して、文系教務課(国際言語文化研究科)は対応しません。

6. 外国語特別研修コースの「特別英語セミナー」は、授業の種類にかかわらず、一期に一クラスしか受講できません。

NUPACE 学生等の受講申込について

「特別英語セミナー 2. 申込期間及び時間」に記載された、受講申込期間後も申込を受け付けるNUPACE 学生等については、次のとおり受講手続を行ってください。

【10月11日(火)~14日(金)、17日(月)]から授業を受講できます。

① 空きクラスの確認

10月3日(月)に全学教育棟本館1階「全学向け授業」掲示板に掲示する「特別英語セミナー 空きクラス一覧」を確認してください。この時、受講者人数が定員(20名)に達しているクラスには、受講申込ができません。

② 申込期間及び場所 (NUPACE 学生等)

2011年10月3日(月)~10月6日(木) 9:00~12:00、13:00~17:00

文系総合館1階 文系教務課事務室(国際言語文化研究科) 窓口(10ページ配置図参照)

③ 受講申込カード記入・提出について

配付するカード 黄色 (4連)

受講希望者は、「受講申込カード」に必要事項を記入のうえ、申込期間中に文系教務課事務室(国際言語文化研究科)窓口へ提出してください。特に以下の①・②については、注意事項をよく読んで記入してください。提出の際には、〈本人保存用〉及び〈教員保存用〉カードを返却します。〈本人保存用〉カードは第1回目の授業時に授業担当教員に渡してください。また、〈本人保存用〉カードに記載してある受講受付番号により受講調整結果を掲示しますので、結果の確認には必ずそのカードを持参してください。なお、受講する授業が決定した後も、〈本人保存用〉カードは保管しておいてください。

i. 『TOEIC 等点数』:

「特別英語セミナー」の受講を希望する人は全て、TOEIC 公開試験等の英語検定試験の点数を受講申請の際に記入する必要があります。TOEIC 等の受験は各自で行ってください。

TOEIC 等の英語検定試験の結果(点数)を確認して申請してください。なお、申請時に下記基準を満たしていることを証明する得点証明書(有効期限は2年間)を持参してください。得点証明書は原本を提出してください。確認・複写後、返却します。下記基準を満たしていない場合は、受付できません。

名 称	申請基準
TOEFL-ITP	527以上
TOEFL-PBT	527以上
TOEFL-CBT	197以上
TOEFL-iBT	71以上
TOEIC	663以上

※いずれの検定試験も正規の公開試験の結果のみを基準とする (TOEFL-ITP を除く)。

ii. 『希望するクラス』

受講したいクラスを1つ記入してください。

④ 受講調整結果の発表

受講希望者が受講可能人数を超える場合は、提出された「受講申込カード」のデータをもとに受講調整を行い、各授業の受講者を決定します(決定後の問い合わせには応じません)。

定員に限りがあるので、受講申請者全員が受講できるとは限りません。

受講調整結果発表 (NUPACE 学生等 10月3日~6日 申込分)

日 時: 2011年10月11日 (火) 9:00~

場 所: 全学教育棟本館1階「全学向け授業」掲示板 (9ページ配置図参照)

⑤ 授業を無断で欠席した場合は、受講放棄とみなしますので、ご注意ください。この件に関する質問に対して、文系教務課(国際言語文化研究科)は対応しません。

⑥ 外国語特別研修コースの「特別英語セミナー」は、授業の種類にかかわらず、一期に1クラスしか受講できません。

えいご いがい がいこくご
英語以外の外国語

ぜんがくむ じゆぎやう こうきじゆぎやう きかん だい しゅう かいこう
全学向け授業としては、後期授業期間の第2週〔10月11日（火）～14日（金）、17日（月）〕から開講します。
じゆこう てつづ つぎ
受講手続きは、次のとおりです。なお、希望者が多数の場合は第1回の授業時に受講調整を行います。

1. 受講申込カード配付場所

ふんけい そうごうかん かい ぶんけい きやうむ かじ むしつ こくさいげん ごぶん かけんきゆうか まどぐち はいち ずさんしやう
文系総合館1階 文系教務課事務室（国際言語文化研究科）窓口（10ページ配置図参照）

2. 配付期間及び時間

き かん
期 間：2011年10月3日（月）～17日（月）

じ かん へいじつ
時 間：平日 9：00～17：00

3. 配付するカード

はいふ
青色（3連）

4. 受講登録手続き

だい かいめ じゆぎやうじ じゆこう きよか じゆぎやうかもく
第1回目の授業時〔10月11日（火）～14日（金）、17日（月）〕に受講が許可された授業科目につ
いて、「受講申込カード」のうち〈教員保存用〉カードを授業担当教員に渡し、〈事務室保存用〉
カードを文系教務課事務室（国際言語文化研究科）窓口の「受講申込カード提出用ボックス」に
ていしゆつ
提出してください（締切厳守）。

じゆこうとうろくき かんおよ じかん
受講登録期間及び時間

き かん
期 間：2011年10月11日（火）～10月18日（火）

じ かん へいじつ
時 間：平日 9：00～17：00

ねんごうきぜんがくむ じゅぎょう がいこくごとくべつけんしゅう とくべつえいご
2011年度後期全学向け授業「外国語特別研修コース」特別英語セミナー
 じゅこうもうしこみ じゅぎょうじゅこう なが
受講申込から授業受講までの流れ



9月21日(水)、
22日(木)
9:00~12:00、
13:00~17:00

じゅこうもうしこみ はいふおよ うけつけ
受講申込カード配付及び受付
 じゅこうもうしこみ きいろ れん
受講申込カード〔黄色(4連)のカード〕
 およ どうとくてんしやうめいしよ ていしゆつ
及びTOEIC等得点証明書の提出
 ぶんけいぎやうむ か こくさいげんごぶんか けんきゆうか まどぐち
〔文系教務課(国際言語文化研究科)窓口〕

じゅこうきよかしや
受講許可者のみ

9月29日(木)
9:00~

ちやうせいけつ か はつびやうおよ けいじ
調整結果の発表及び掲示
 じゅこうかのう かくにん
受講可能クラスの確認
 もうしこみぶん
(9月21日、22日申込分)
 ぜんがくむ じゅぎやうけいじばん
〔全学向け授業掲示板〕

ちやうせいけつ か はつびやうおよ けいじ
調整結果の発表及び掲示
 じゅこうかのう かくにん
受講可能クラスの確認
 もうしこみぶん
(9月21日、22日申込分)
 ぜんがくむ じゅぎやうけいじばん
〔全学向け授業掲示板〕

10月3日(月)
~6日(木)
9:00~12:00、
13:00~17:00

じゅこうもうしこみ はいふおよ うけつけ
受講申込カード配付及び受付
 ぶんけいぎやうむ か こくさいげんごぶんか けん
〔文系教務課(国際言語文化研究科)窓口〕

じゅこうもうしこみ はいふおよ うけつけ
受講申込カード配付及び受付
 じゅこうもうしこみ きいろ れん
受講申込カード〔黄色(4連)のカード〕
 およ どうとくてんしやうめいしよ ていしゆつ
及びTOEIC等得点証明書の提出
 ぶんけいぎやうむ か こくさいげんごぶんか けんきゆうか まどぐち
〔文系教務課(国際言語文化研究科)窓口〕

じゅこうきよかしや
受講許可者のみ

10月3日(月)
~7日(金)

だい かいめ じゅぎやうじっし
第1回目の授業実施
 きやういん ほぞんやう ていしゆつ
〈教員保存用〉カードの提出
 もうしこみぶん
(9月21日、22日申込分)
 かくぜんがくむ じゅぎやうたんとうきやういん
〔各全学向け授業担当教員〕

だい かいめ じゅぎやうじっし
第1回目の授業実施
 きやういん ほぞんやう ていしゆつ
〈教員保存用〉カードの提出
 もうしこみぶん
(9月21日、22日申込分)
 かくぜんがくむ じゅぎやうたんとうきやういん
〔各全学向け授業担当教員〕

10月11日(火)
9:00~

ちやうせいけつ か はつびやうおよ けいじ
調整結果の発表及び掲示
 じゅこうかのう かくにん
受講可能クラスの確認
 もうしこみぶん
(10月3日~6日申込分)
 ぜんがくむ じゅぎやうけいじばん
〔全学向け授業掲示板〕

ちやうせいけつ か はつびやうおよ けいじ
調整結果の発表及び掲示
 じゅこうかのう かくにん
受講可能クラスの確認
 もうしこみぶん
(10月3日~6日申込分)
 ぜんがくむ じゅぎやうけいじばん
〔全学向け授業掲示板〕

10月11日(火)
~14日(金)、
17日(月)

だい かいめ じゅぎやうじっし
第2回目の授業実施
 きやういん ほぞんやう ていしゆつ
〈教員保存用〉カードの提出
 もうしこみぶん
(10月3日~6日申込分)
 かくぜんがくむ じゅぎやうたんとうきやういん
〔各全学向け授業担当教員〕

ねん どころ き ぜんがく む じゅぎょう がいこく ご とく べつけんしゅう えいご いがい がいこく ご
2011年度後期全学向け授業「外国語特別研修コース」英語以外の外国語
 じゅこうもうしこみ じゅぎょうじゅこう なが
受講申込から授業受講までの流れ

ぶんけいきょう む か
 文系教務課
 こくさいげん こぶん か けんきゅう か
 (国際言語文化研究科)

じゅこう き ぼうしや
 受講希望者
 がく ぶ がくせい ぜんがく む じゅぎょう
 学部学生 (「全学向け授業」
 とうろく ばい
 として登録する場合のみ)、
 だいがく いんせい けんきゅうせい どう およ ほん
 大学院生、研究生等及び本
 がく しよく いん がく せい
 学職員 (NUPACE 学生、
 がく せい けん きゅう せい
 G30学生、研究生のうち
 ねん どころ き しんにゅうがくせい
 2011年度後期新入学生を含む)

ぜんがく む じゅぎょう たんとくきょういん
 全学向け授業担当教員

10月3日 (月)
 ~17日 (月)
 9:00~17:00

じゅこうもうしこみ はい ふ
 受講申込カードの配付
 じゅこうもうしこみ あおいろ れん うけとり
 受講申込カード [青色(3連)のカード] の受取
 ぶんけいきょう む か こくさいげん こぶん か けんきゅう か まどぐち
 [文系教務課 (国際言語文化研究科) 窓口]

10月11日 (火)
 ~14日 (金)、
 17日 (月)

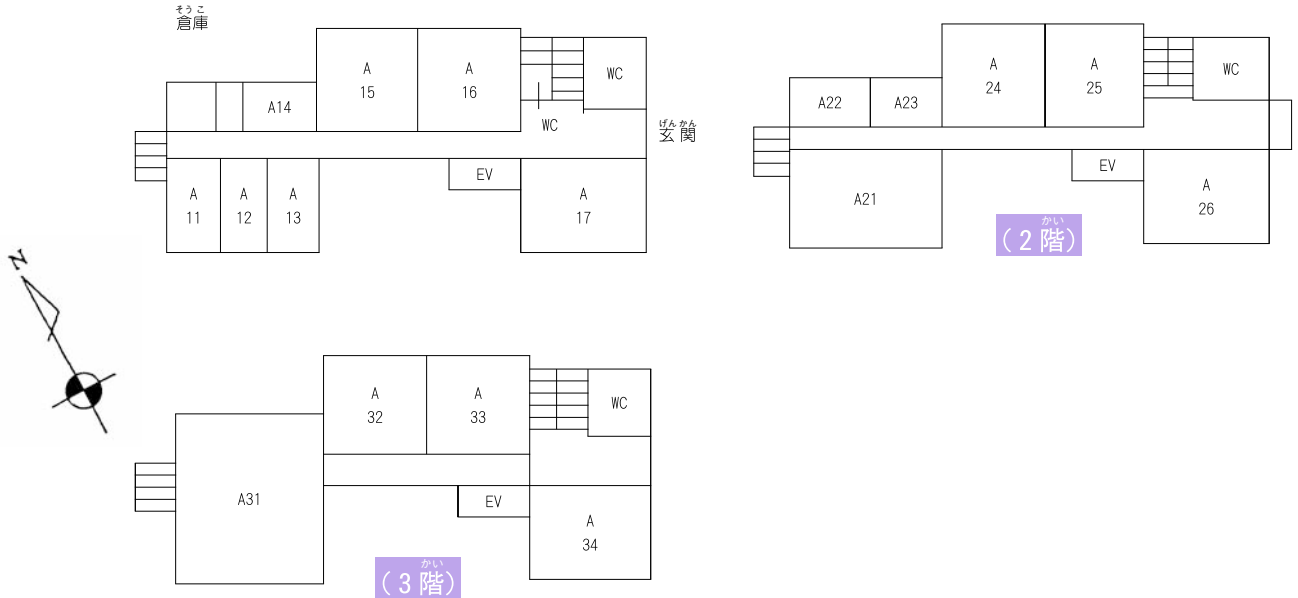
だい かいめ じゅぎょうじっし
 第1回目の授業実施
 きょういん ほぞんよう ていしゅつ
 <教員保存用> カードの提出
 かくぜんがく む じゅぎょう たんとくきょういん
 [各全学向け授業担当教員]
 たんとくきょういん じゅこうちょうせい
 ⇒担当教員による受講調整

10月11日 (火)
 ~18日 (火)
 9:00~17:00

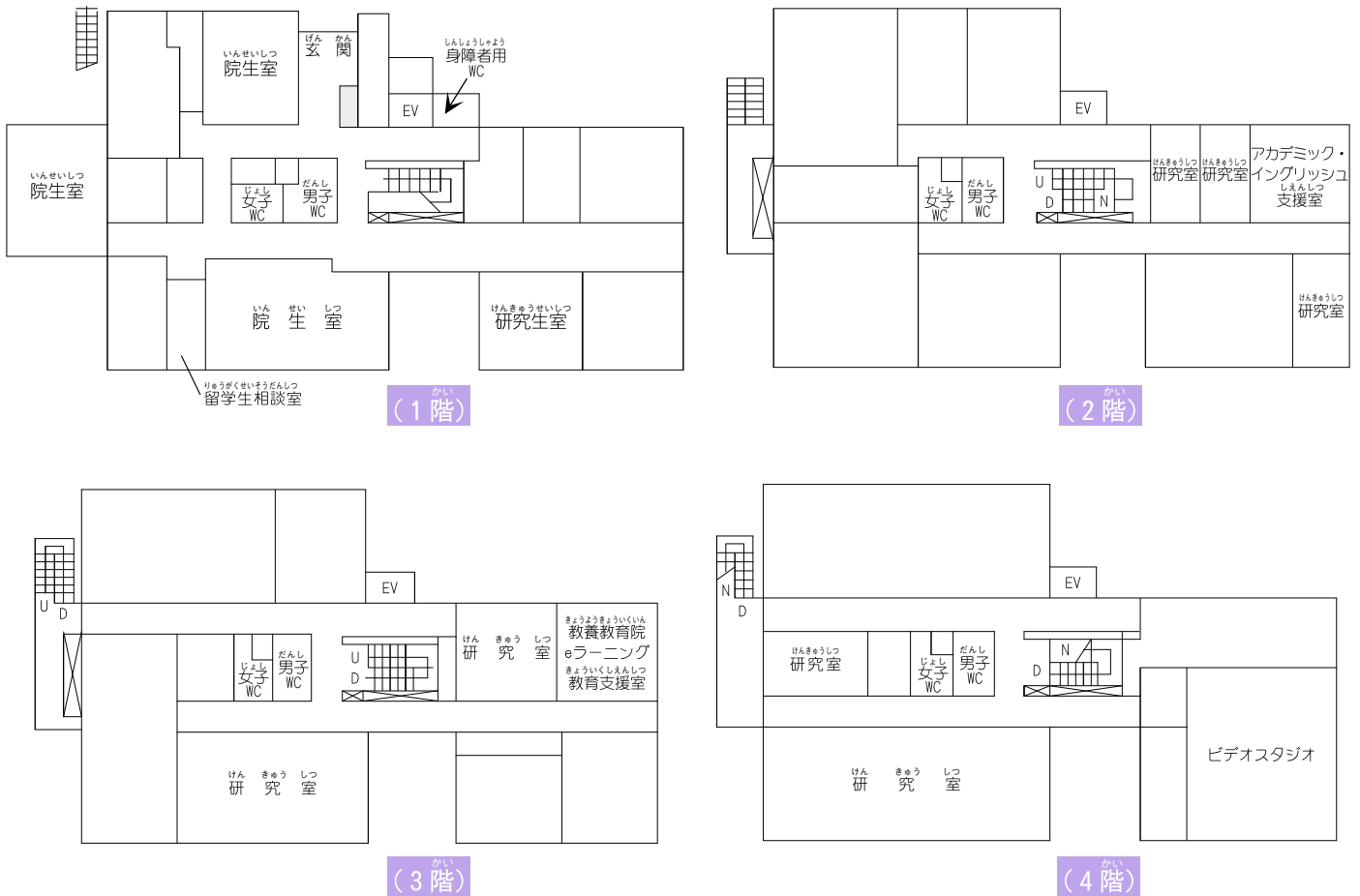
じゅこうとうろく てつづき
 受講登録手続
 じ む しつ ほぞんよう ていしゅつ
 <事務室保存用> カードの提出
 ぶんけいきょう む か こくさいげん こぶん か けんきゅう か
 [文系教務課 (国際言語文化研究科)
 じゅこうもうしこみ ていしゅつよう
 「受講申込カード提出用ボックス」]

ぜんがくきょういこう こくさいげんごぶんかけんきゅうかとうおよぶんけいそうごうかんきょうしつとうはいちず
 全学教育棟・国際言語文化研究科棟及び文系総合館教室等配置図

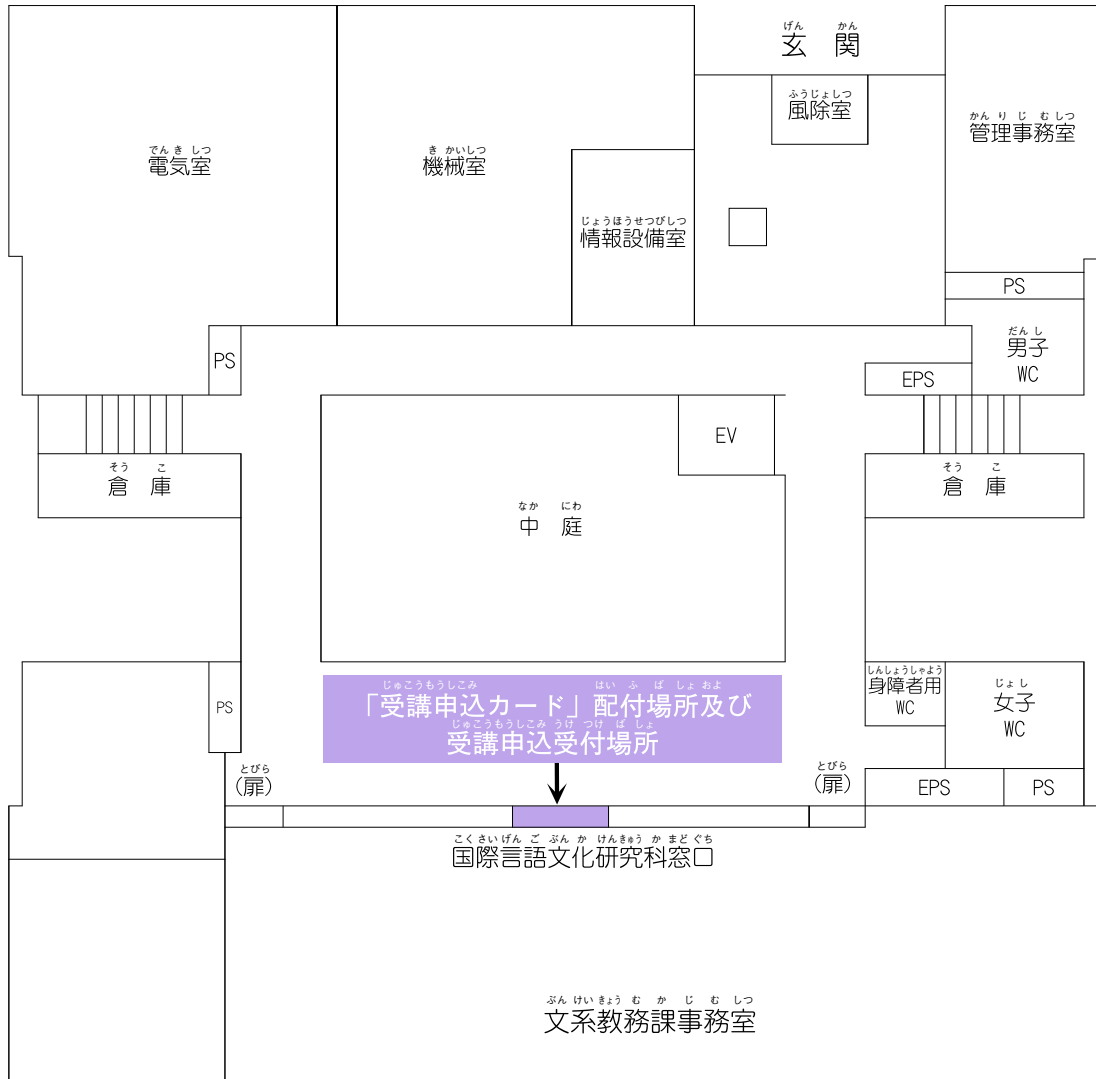
ぜんがくきょういこう かん
 《全学教育棟 A館》



こくさいげんごぶんかけんきゅうかとう
 《国際言語文化研究科棟》



ぶんけいそうごうかん
文系総合館 1F



(1階)



ねんごこうき じゅぎょうじ かんわりひょう
2011年度後期・授業時間割表

「外国語特別研修コース」

授業科目		記号	担当教員	曜日 (時限)	教室	定員	備考
英 語	特別英語セミナー (Writing)b	A	ないれつぷ ちゃど NILEP CHAD D.	月 (2)	A13	20	
	特別英語セミナー (Writing)b	B	ぽったー さいもん POTTER SIMON R.	火 (4)	A13	20	
	特別英語セミナー (Writing)b	C	もりた ちゅありあん MORITA CHUA LIANG	木 (4)	A13	20	
	特別英語セミナー (Presentation)b	D	へいぐ えどわーど HAIG EDWARD	火 (2)	A12	20	
	特別英語セミナー (Presentation)b	E	もりた ちゅありあん MORITA CHUA LIANG	水 (2)	C12	20	
	特別英語セミナー (Presentation)b	F	ういーくす まーく WEEKS MARK C.	金 (2)	S13	20	
	特別英語セミナー (Reading)b	G	ぽったー さいもん POTTER SIMON R.	水 (4)	S13	20	
	特別英語セミナー (Reading)b	H	ういーくす まーく WEEKS MARK C.	木 (3)	S12	20	
	特別英語セミナー (Reading)b	I	ないれつぷ ちゃど NILEP CHAD D.	金 (3)	S12	20	
	特別英語セミナー (Certificate Tests)b	J	まつ げら みどり 松原 緑	木 (2)	竹薙 B	20	
ドイ ツ 語	ドイツ語 Level 1b		たか はた ゆうと 高畑 祐人	火 (1)	S12	20	ぜんき 前期から継続
	ドイツ語 Level 2b		こっほ M. Koch	金 (3)	S13	20	ぜんき 前期から継続
フラ ンス 語	フランス語 Level 1b		あら い み さこ 新井 美佐子	月 (5)	S12	20	ぜんき 前期から継続
	フランス語 Level 2b		ぼーめーる にこら BAUMERT NICOLAS	火 (5)	S19	20	ぜんき 前期から継続
ロシ ア 語	ロシア語 Level 1b		さヴェりえふ いごり SAVELIEV IGOR	火 (2)	A11	20	ぜんき 前期から継続
	ロシア語 Level 2b		やま ぎさき 山崎 タチアナ	金 (4)	S12	20	ぜんき 前期から継続
中 国 語	中国語 Level 1b		か のう ひかる 加納 光	水 (2)	C20	20	ぜんき 前期から継続
	中国語 Level 2b		まえ だ みつ こ 前田 光子	月 (3)	C11	20	
スぺ イン 語	スペイン語 Level 1b		びじゃろぼす A. Villalobos	水 (4)	S14	20	
	スペイン語 Level 2b		かわ た れい こ 川田 玲子	木 (4)	A12	20	
朝 鮮 ・ 韓 国 語	朝鮮・韓国語 Level 1b		きむ うおん よん 金 元 榮	金 (3)	S14	20	ぜんき 前期から継続
	朝鮮・韓国語 Level 2b		ちよん じ すすく 鄭 芝 淑	火 (4)	A12	20	ぜんき 前期から継続
	朝鮮・韓国語 Level 2b		いい だ ひで とし 飯 田 秀 敏	火 (5)	北棟105	20	ぜんき 前期から継続
ポ ル ト ガ ル 語	ポルトガル語 Level 1b		しげ まつ よし み 重松 由美	金 (2)	S12	20	ぜんき 前期から継続
ラ テ ン 語	ラテン語 Level 1b		あり かわ かん たろう 有川 貫太郎	水 (3)	CALL2	20	ぜんき 前期から継続
古 典 ギ リ シ ア 語	古典ギリシア語 Level 1b		あり かわ かん たろう 有川 貫太郎	水 (5)	CALL2	20	ぜんき 前期から継続
ア イ ヌ 語	アイヌ語 Level 1		こ さか こう いち 小坂 光一	木 (3)	CALL2	20	
イ タ リ ア 語	イタリア語 Level 1b		しゅっか A. Sciucca	水 (4)	S15	20	ぜんき 前期から継続
ベ ト ナ ム 語	ベトナム語 Level 1b		かな むら 久 美 金村 久美	月 (5)	S13	20	ぜんき 前期から継続

注) 講義室の表示について

- 「C10」(Cで始まるもの), 「CALL1」(CALL教室), 「サブラボB」: 全学教育棟本館
- 「A34」(Aで始まるもの): 全学教育棟A館
- 「S19」(Sで始まるもの): 全学教育棟本館南棟
- 「北棟105」: 全学教育棟本館北棟1階

じゅぎょう ようらん
授 業 要 覧

がいこくご とくべつけんしゅう
(外国語特別研修コース)

じゅぎょう か もく 授 業 科 目	たん どう きょういん 担 当 教 員	よう び 曜 日 ・ じ げん 時 限	てい いん 定 員	じゅ ぎょう ない よう 授 業 内 容
とくべつえいご 特別英語 セミナー (Writing) b	な い れ つ ぶ NILEP ち ゃ ど CHAD D.	月 (2)	20	<p>ほんじゅぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい The aim of this class is to help students develop their skills in using written English and employing a writing process.</p> <p>りしゅうじょうけん かんれん か もくどう 履修条件・関連する科目等 Be sure to comply with all university requirements.</p> <p>じゅぎょうないよう 授業内容 We will work on writing well structured paragraphs and build toward writing longer essays. We will discuss differences between Japanese and English writing style. We will practice a writing process that includes preparing, writing, and revising to improve written work.</p> <p>せいせきひょうかほうほう 成績評価方法 Participation and attendance, written assignments, and peer revision</p> <p>きょうかしょ 教科書 “Effective Academic Writing 1: The Paragraph. Alice Savage and Masoud Shafiei. Oxford University Press. Handouts”</p> <p>さんこうしょ 参考書 None are required, but an English dictionary may be useful.</p>
とくべつえいご 特別英語 セミナー (Writing) b	ぼ っ た - POTTER さい も ん SIMON R.	火 (4)	20	<p>ほんじゅぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい To get some experience writing short messages and essays in English.</p> <p>りしゅうじょうけん かんれん か もくどう 履修条件・関連する科目等 Other than what the university requires (e.g. a TOEFL score at or beyond a certain level), the ability and willingness to write in reasonably good English. Also, please note that this is not a remedial course.</p> <p>じゅぎょうないよう 授業内容 The first two lessons will be conventional, in that the class will meet in the assigned classroom, but after that the course will turn “cyberian.” An e-mail address for the teacher will be provided and, from the third lesson, all communications between students and the teacher will be through e-mail, using messages and attached files. Students will need to send a message of greetings (with a comment about the weather as it is around the time the class begins) plus a request for the day’s assignment within the first ten minutes of the beginning of the lesson, and the teacher will reply reasonably quickly with the chapter number from the course book. The remainder of the lesson time should be devoted to (1) reading through the two-page essay and one-page dialog in the assigned chapter in the book, (2) writing a “response essay” or another type of essay related to the theme of the assigned chapter, and (3) submitting the essay as a “Word” file by the end of the class period. This means that effective use of time is an important part of “class time,” so it would be a good idea to read through all the chapters within the first two weeks to be ready to respond to any one that is chosen on the third week; subsequently it would be reasonable to do the same with the remaining chapters (which obviously will become fewer) as the course progresses. The e-mail messages and, especially, the essays submitted by the students will be marked for content and validity (of comments or argument), and essays which are not submitted on time (say, by five minutes after the class has officially ended) will never be counted toward the course grade.</p> <p>せいせきひょうかほうほう 成績評価方法 Grades will be determined by summing the scores from the written activities (e-mail messages at 20% and essays at 80%).</p> <p>きょうかしょ 教科書 A book to be used for the course will be made available in the first two lessons, and it is expected to cost less than 2001 yen according to the value of the Japanese yen as of mid December 2010.</p> <p>さんこうしょ 参考書 At least one dictionary for working with English and one’s native language as well as a standard English grammar book would be useful.</p>

授業科目 じゆぎょう かもく	担当教員 たんとう きょういん	曜日・ しげん 時限	定員 ていいん	授業 ない 内容 じゆぎょう ない ようりゆう
とくべつえいご 特別英語 セミナー (Writing) b	ぼったー POTTER さいもん SIMON R.	火(4)	20	<p>ちゆういじこう 注意事項 Because the “notes” are rather long, they are entered below under “web page” where more space has been provided by the computer programmers.</p> <p>じゆこうしや 受講者へのメッセージ These are the “notes” for the course. Since this will be a course conducted mainly in “cyberspace,” students will need to have access to computers and e-mail during the designated class time; please make sure that this is not a problem - the physical location of the students will not matter, but the teacher cannot provide the machinery. This course is being designed as such because (1) people are increasingly being expected to communicate by “texting” and submitting materials as files attached to e-mail messages, (2) students are more likely to end up using English for corresponding via e-mail than for writing paper messages and essays in the future, (3) there is an increasing tendency toward online learning, and (4) it will reduce the amount of time that students will have to listen to the teacher.</p>
とくべつえいご 特別英語 セミナー (Writing) b	もりた MORITA ちゅうあ CHUA りあん LIANG	木(4)	20	<p>ほんじゆぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい The aim of this class is to help students develop their writing skills.</p> <p>じゆぎょうないよう 授業内容 The aim of this class is to help students develop their writing skills. The Curriculum Cycle will be used in this class. The four stages of the Curriculum Cycle are: building up the field, modeling the text type, joint construction and independent writing.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Building the field. In this stage, the aim is to make sure that students have enough background knowledge of the topic to be able to write about it. 2. Modeling the text type. In this stage, the aim is for students to become familiar with the purpose, overall structure and linguistic features of the type of text they are going to write. 3. Joint construction. Here, the instructor and students write a text together, so that students can see how the text is written. 4. Independent writing. At this stage, students write their own text. <p>せいせきひょうかほうほう 成績評価方法 Participation.</p>
とくべつえいご 特別英語 セミナー (Presentation) b	へいぐ HAIG えどわーど EDWARD	火(2)	20	<p>ほんじゆぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい The overall purpose of this advanced level communication course is to develop students’ academic and professional English oral communication skills and help them gain self-confidence in speaking English in front of an audience. Specifically, the course aims to teach students how to prepare for and give effective presentations in English using slides. Through this course, students will have a chance to share with each other ideas and information about which they themselves are genuinely interested.</p> <p>じゆぎょうないよう 授業内容 In this course, students will take it in turns to give short (approximately 10 minute) oral slide-based presentations in English on topics of their own choosing. The aim of the course is to break away from dependence on textbooks or simulated communication organized by the teacher and move instead towards genuine communication organized by the students themselves. Accordingly, students will not be obliged to talk about particular topics but will be free to speak about anything that interests them and which they feel will be of interest to their classmates. However, given that this is an advanced class, it is hoped that students will choose to give at least one presentation related to their academic or professional interests. Students will be expected to give either two or three presentations, depending on the number of participants who take the course. Students must prepare their presentations carefully and be able to give their presentation based on notes and slides rather than simply reading from a script. On the other hand, they will not be expected to memorize their presentations. While each student is giving his or her presentation, the other students will take notes, either in English or Japanese. After each presentation there will be a follow-up question and answer session in English and the teacher will provide the presenter with a detailed feedback report on his or her overall performance.</p>

授業科目 じゅぎょう かもく	担当教員 たんとう きょういん	曜日・ 時間 ようび じげん じげん	定員 ていいん	授業内容 じゅぎょう ないよう
とくべつえいご 特別英語 セミナー (Presentation) b	へいぐ HAIG えどわーど EDWARD	火(2)	20	<p>せいせきひょうかほうほう 成績評価方法 For this course the grade will be based on the class-based activities described above (specifically: speeches 80% , note-taking 10% , participation 5% and attendance 5%).</p> <p>きょうかしょ 教科書 None. However, students will be responsible for producing handouts for their own presentations.</p> <p>ちゅういじこう 注意事項 Students will be expected to have some basic knowledge and experience of using presentation software such as Powerpoint.</p> <p>じゅこうしゃ 受講者へのメッセージ Always expect the unexpected!</p>
とくべつえいご 特別英語 セミナー (Presentation) b	もりた MORITA ちゅうあ CHUA りあん LIANG	水(2)	20	<p>ほんじゅぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい The aim of this class is to help students develop their presentation skills.</p> <p>じゅぎょうないよう 授業内容 The aim of this class is to help students develop their presentation skills. We will discuss the basic guidelines for designing a presentation and the delivery of the presentation. In addition, communicative competence is emphasised in this class. Communicative competence is what a speaker needs to know to be able to communicate correctly and appropriately. The following three aspects of communicative competence are particularly relevant: 1. Linguistic competence, which means that the forms, inflections and sequences used to express the message are grammatically correct. 2. Sociolinguistic competence, which means that the expression of the message is appropriate in terms of the person being addressed and the overall circumstances and purpose of communication. 3. Discourse competence, which means that the selection, sequence and arrangement of words and structures are clear and effective means of expressing the intended message.</p> <p>せいせきひょうかほうほう 成績評価方法 Participation.</p>
とくべつえいご 特別英語 セミナー (Presentation) b	ういーくす WEEKS まーく MARK C.	金(2)	20	<p>ほんじゅぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい じょうきゅうしゃむこう 高度な英語運用能力を身につける機会を提供するために かいこう 開講する授業の一つで、言語文化 I の授業で培った英語によるプレゼンテーションの力をさらに高いレベルにまで延ばすことを目的とする授業。</p> <p>じゅぎょうないよう 授業内容 Happiness is the main theme through which various cultural topics are explored and discussed in the course. Globally, particularly in English-speaking cultures, research on this topic has increased recently, covering the fields of sociology, psychology, medicine, politics and economics. It has been the subject of philosophy and literature for much longer. We will examine and discuss short video and written materials from each of these fields in order to deepen our awareness of ourselves, our cultures and other cultures, especially those using English as the first language. Students will then be asked to combine further research with their own thinking in order to make individual presentations on specific subjects related to the issues discussed in the course.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2-3. Happiness Research video and discussion 4. Happiness Research reading and discussion 5. The politics and economics of happiness 6. Presentation skills reviews, models and discussion 7-9. Short presentations 10. Happiness and Sadness in philosophy discussion 11. Comic and Tragic approaches to life in literature discussion 12-14. Major presentations 15. Course review

授業科目 じゆぎょう か もく	担当教員 たんとう きょういん	曜日・ しげん 時限	定員 ていいん	授 業 内 容
とくべつえいご 特別英語 セミナー (Presentation) b	ういーくす WEEKS まーく MARK C.	金(2)	20	<p>せいせきひょうかほうほう 成績評価方法 発表(40%)；宿題(30%)；出席等(30%)</p> <p>さんこうしょ えい わ わえいじてん 参考書 英和・和英辞典</p> <p>じゆこうしや 受講者へのメッセージ Classes are conducted entirely in English. While very short lectures are sometimes given by the teacher, class time is spent mostly in pair and group discussions along with giving presentations. The atmosphere is informal and will encourage students to speak freely and confidently, as well as think deeply and critically, across cultures and within themselves.</p> <p>※この科目は日本の「幸福の科学」には一切関係ありません。</p>
とくべつえいご 特別英語 セミナー (Reading) b	ぼったー POTTER さいもん SIMON R.	水(4)	20	<p>ほんじゆぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい To acquire some experience reading reasonably difficult passages in the English language and to learn how to relate them to one's own life and/or society.</p> <p>りしゅうじょうけん かんれん か もくどう 履修条件・関連する科目等 Other than what the university requires (e.g. a TOEFL score at or beyond a certain level), the ability and willingness to attempt the equivalent of a first-year general-education course at an American college or university.</p> <p>じゆぎょうないよう 授業内容 The titles of the reading passages are On the Origin of People, The Human Nervous System, Disease and Its Creative Potential, How Best to Learn about Schizophrenia, Language, The Concept of Culture, The Essence of Education, The Ten Commandments, The Beatitudes, Islam, The Way, Confucius, Lao Tzu Says, The Buddha's Four Noble Truths, Zen Koans, Rajayoga, God Is a Puppeteer, Anarchism, The American Bill of Rights, Marx and Engels Say, The National Socialists as Leftists, History and Economic Development, The Attraction of a Wealthy Country, In Search of a Route to Resources, The Reluctant Imperialist, The Future of Global English, A Baron on Global Warming, From a Skeptical Environmentalist, and Ecclesiastes. These passages are extracts from a variety of treatises dealing with politics, religion, philosophy, ecology, and so on; generally, two or three of the passages will be assigned as homework, while in-class activities will involve some written work, discussion, and/or explanations by the teacher.</p> <p>せいせきひょうかほうほう 成績評価方法 Grades will be determined by summing the scores from the written activities and participation in the oral discussions.</p> <p>きょうかしよ 教科書 If the number of students is small, photocopies will be made available, but if the number of students is large enough to require a lot of time spent at the photocopier, a PDF with the passages will be made available for downloading.</p> <p>さんこうしょ 参考書 At least one dictionary for working with English and one's native language would be useful.</p> <p>ちゅういじこう 注意事項 The title of this course is "Selected Readings."</p>
とくべつえいご 特別英語 セミナー (Reading) b	ういーくす WEEKS まーく MARK C.	木(3)	20	<p>ほんじゆぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい 上級者向けに高度な英語運用能力を身につける機会を提供するために 開講する授業の一つで、言語文化 I の授業で培った英語リーディングの力をさらに高いレベルにまで延ばすことを目的とする授業。</p>

授業科目 じゆぎょうかもく	担当教員 たんとうきょういん	曜日・ 時限 ようび じげん	定員 ていいん	授業 内容 じゆぎょう ない よう りゆう
特別英語 セミナー (Reading) b	WEEKS MARK C.	木(3)	20	<p>授業内容 The underlying theme for reading and discussion in this course is the idea that work and play are not easily separated, because play may be seen as the basis of creativity, philosophy, and scientific thinking. This course explores English language and English-language based cultures in terms of the modern history of work and play. Some recent sociological research is discussed, along with reading from the fields of history, psychology, literature and philosophy. Some cross-cultural comparisons are also studied.</p> <p>Proposed Lesson Schedule:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2-3. Work time and play time in English speaking cultures today 4-5. Play at the foundation of Western thought 6-8. A history of work and play 9-10. The role of play in science 11. Play in the work of art 12-14. Changing concepts of work and play in recent English speaking cultures and Japan 15. Course review <p>Although this is primarily a reading course, some of the reading will be done as homework, allowing us to spend time in class helping each other to understand and analyze the ideas in the texts through discussion. Students work in pairs and groups throughout the course.</p> <p>成績評価方法 レポート (×2) (50%) ; 宿題 (20%) 出席/class participation (30%)</p> <p>参考書 英和・和英辞典</p> <p>受講者へのメッセージ It was written by a famous theorist on the subject that play, not work, is the basis of civilization. In fact, the two concepts continue to interact in complex ways, which we will examine in depth, particularly in the context of native English-speaking cultures, through reading and discussion. Ideally, this course should itself combine the serious work of improving academic knowledge/language skills with creative intellectual play. Classes are conducted entirely in English.</p>
特別英語 セミナー (Reading) b	NILEP CHAD D.	金(3)	20	<p>本授業の目的およびねらい The aim of this class is to help students develop their reading skills by reading both short fiction and essays.</p> <p>履修条件・関連する科目等 Be sure to comply with all university requirements.</p> <p>授業内容 We will practice reading a variety of authentic materials. This includes short stories by American authors and newspaper articles on politics, economics, and society written in English for English speakers.</p> <p>成績評価方法 Grades are based on participation and attendance (80%) and written responses to your reading (20%).</p> <p>教科書 American Short Story Masterpieces. Raymond Carver and Tom Jenks. Dell. (ISBN 0440204232) Hand outs</p> <p>参考書 None are required, but an English dictionary may be useful.</p>
特別英語 セミナー (Certificate Tests) b	松原 緑	木(2)	20	<p>本授業の目的およびねらい TOEICで更なる得点アップを図るためのボキャブラリー強化と、TOEICテスト形式に慣れ、正答を導き出すコツをつかむことを目的としたTOEIC対策講座。</p> <p>履修条件・関連する科目等 ・TOEIC 672点以上 ・TOEFL-ITP 530, -CBT 197, -iBT 71点以上 が望ましい。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時間	定員	授業内容
<p>とくべつえいご 特別英語 セミナー (Certificate Tests) b</p>	<p>まつばらみどり 松原緑</p>	<p>木(2)</p>	<p>20</p>	<p>授業内容 毎回指定された範囲の単語テストと TOEIC 形式のミニテストを実施する。その後、解答・解説を行ういわゆるテストゼミ形式で授業を進める。前期に行った授業と形態は同じだが、内容は異なる。 成績評価方法 授業参加度・単語チェックテスト・期末テスト 教科書 毎回プリントを配布する。 参考書 「TOEIC TEST スーパーボキャブラリービルディング」 ベレ出版 ¥2,500 ※ 第1回目の授業までに購入しておくこと。 受講者へのメッセージ 資格試験でポイント・アップを目指すには、形式に慣れることも大切です。自分なりの目標設定をして、本試験に臨む準備をしましょう！</p>
<p>ドイツ語 Level 1b</p>	<p>たか はた ゆうと 高畑 祐人</p>	<p>火(1)</p>	<p>20</p>	<p>本授業の目的およびねらい ドイツ語をはじめて学ぶ学生を対象に、一貫した授業計画に基づいてドイツ語に関する基礎知識と運用力を養成する科目です。「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランスよく総合的に身につけることを目指します。 履修条件・関連する科目等 前期のRUDE先生の授業を受けついで行います。授業は口頭練習を中心に行なわれますので、毎回出席することが履修の条件になります。 授業内容 1-2. Nagisa hat keinen Bruder. 3-4. Wie spät ist es jetzt? 5-6. Wir fahren nach Paris. 7-8. Ich hätte gern ein Handy. 9-10. Ich schenke meinem Vater eine CD. 11-12. Ich war gestern zu Hause. 13-14. Waschen, schneiden, föhnen, bitte! 15. 試験 成績評価方法 平常点・試験を総合して判断します。 教科書 Wie bitte? とにかく話そうドイツ語 (郁文堂) 注意事項 積極的な参加を望みます。</p>
<p>ドイツ語 Level 2b</p>	<p>M. Koch</p>	<p>金(3)</p>	<p>20</p>	<p>本授業の目的およびねらい この授業では、すでに習得したドイツ語の知識を用いて、日常的なドイツ語をさらに実践的に学習します。目標は「ドイツ語を活かす」です。口語表現力、聴解力を養成するために、授業ではできるだけドイツ語を用います。あわせて、ドイツ事情について学びます。 履修条件・関連する科目等 ドイツ語初級能力を持っている学生のための授業です。 授業内容 自分の日常生活をドイツ語で表現できるようになることを目指します。前期で学習する場面は、以下のとおりです。 (1) 家族と人間関係 親子関係について話す 今日と昔のしつけ (zu 不定詞・副文・過去形)</p>

授業科目 じゆぎょう かもく	担当教員 たんとう きょういん	曜日・ 時間 ようび じげん じゆん	定員 ていいん	授業内容 じゆぎょう ないよう
ドイツ語 Level 2b	M. Koch	金(3)	20	<p>(2) 自然と環境 天気について話す ドイツ地理 環境保護 (関係代名詞と関係文・非人称主語 es)</p> <p>(3) ドイツに住む外国人・外国に住むドイツ人 旅行について話す 海外で働く 移住 (zum 不定詞・um zu 不定詞・副文・間接疑問文・lassen)</p> <p>(4) ニュースと政治と歴史 選挙制度について話す ドイツ1949-1990 ドイツ再統一 (ausser.wegen・前置詞をつかった表現)</p> <p>成績評価方法 平常点70%、期末試験30%</p> <p>教科書 Themen 2 aktuell, Kursbuch, Hueber Verlag</p> <p>参考書 独和辞典および和独辞典</p> <p>注意事項 学生と教師間の会話だけでなく、隣の人とペアを組んで対話をしながら表現を覚え、また文法規則を応用できるような授業を目指します。学生の積極的な授業への参加が求められます。家での復習が重要となります。</p>
フランス語 Level 1b	新井美佐子	月(5)	20	<p>本授業の目的およびねらい フランス語の基礎的な文法知識を獲得しつつ、それと同時に初歩的な運用能力も修得することを旨とする。また、フランス語圏の社会と文化について、基礎的な知識を与える。</p> <p>履修条件・関連する科目等 新たにフランス語を始める学生のためのクラス。前期火曜5限に開講される藤村先生の「フランス語 Level 1a」を引き継ぐ。今期より受講を開始しても構わないが、授業内容は上記クラスの続きからとなるので注意。</p> <p>授業内容 前期火曜5限の授業を引き継ぎ、週一度の授業で一年かけてフランス語の基礎を学習する。</p> <p>何についても言えることだが、語学も積み重ねが重要である。予習は特に必要ないので、授業には集中して、フランス語を「理解する」よう努めてもらいたい。理解しないまま、ただ覚えようとするのは、効率的ではない。授業中にあるいは宿題で、テキストに載っている練習問題をやってもらうが、その際、テキストの文法説明をよく読み、必要であれば辞書を引いて、理解しながら自分で答えることが大切である。定期試験の準備として、「基礎的な」事項を覚えることは必要だが、たくさんの単語のつづりを頭に詰め込むようなことは求めない。繰り返しになるが、「(丸)暗記できているか」ではなく、「理解できているか」を問う出題になる。</p> <p>フランス語は、フランスのみならずヨーロッパやアフリカなどの複数の国で、さらに国連はじめ多くの国際機関で、公用語に採用されている。フランス語を身につけるといことは、単なる言語の習得にとどまらず、新しい視点や広い視野の獲得にもつながる。こうしたことも念頭に置きつつ、真摯に学んで欲しい。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時間	定員	授業内容
フランス語 Level 1b	あら い み さ こ 新井美佐子	月(5)	20	<p>せいせきひょうかほうほう へいじょうてん (20%) ならびに ていき しけん (80%) 成績評価方法 平常点 (20%) ならびに定期試験 (80%)</p> <p>ぎょうかしょ 『新C D フランス語文法』大木充 他著、朝日出版 教科書 『新C D フランス語文法』大木充 他著、朝日出版</p> <p>さんこうしょ 授業中に適宜指示する。 参考書 授業中に適宜指示する。</p>
フランス語 Level 2b	ぼーめーる BAUMERT に NICOLAS	火(5)	20	<p>ほんじゅぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい 今まで学習したフランス語を実際を使って、会話・作文などの練習をする。フランス語圏の社会・文化についての知識を獲得できるようにする。</p> <p>じゅぎょうないよう 授業は、今まで習ったフランス語を基礎として、様々なテーマを用いて聞き取り、読み書きなどを練習します。テーマは、フランス地方の郷土料理について、フランス語圏(ケベック、スイス)の歴史や文化について、フランスのニュース等です。授業では、各グループでテーマを決めてフランス語で簡単な発表もします。</p> <p>せいせきひょうかほうほう 授業参加度30% 宿題/小テスト40% レポート30% 成績評価方法 授業参加度30% 宿題/小テスト40% レポート30%</p> <p>ぎょうかしょ プリント 教科書 プリント</p> <p>さんこうしょ 授業の中で、適宜指示をする。 参考書 授業の中で、適宜指示をする。</p>
ロシア語 Level 1b	さうえりえふ SAVELIEV いごり IGOR	火(2)	20	<p>ほんじゅぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい ロシア語の基礎を学ぶための科目である。バランスよくロシア語を学べるよう、基礎文法の学習だけでなく日常会話の練習や平易な文章の講読も行う。さらに、ロシアの文化・風俗・歴史などの背景知識を学習することによりロシア語世界をより深く理解する。目標は「ロシア語に触れる」ことである。</p> <p>じゅぎょうないよう この授業では、半期でロシア語の基礎的な文法事項を習得する。 授業テーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アルファベット、発音。「これは ... です」 2. 名刺の性、数。「これはなんですか」簡単な文章を作る。 3. 名詞の前置格；疑問文；動詞の不定形 4. 名詞の性格；動詞の現在形 5. 名詞の対格。年号の表現 6. 動詞の過去形、文章を作る。 7. 人称代名詞；ミニ会話の練習 8. 所有の表現；名詞の造格 9. 動詞の未来形。 10. 数詞の練習。 11. ミニ会話；基礎文法の知識を活用。 12. 名詞の与格。 13. 動詞の体：完了体、不完了体1 14. 動詞の体：完了体、不完了体2 15. 運動の動詞 <p>せいせきひょうかほうほう 学期末試験と出席を重視する。授業への参加度も評価する。 成績評価方法 学期末試験と出席を重視する。授業への参加度も評価する。</p> <p>ぎょうかしょ 佐々木昭央『速修ロシア語』白水社。 教科書 佐々木昭央『速修ロシア語』白水社。</p> <p>さんこうしょ 露和辞典は、「研究社露和辞典」、「博友社露和辞典」、「岩波露和辞典」のうちから一冊を購入してください。 参考書 露和辞典は、「研究社露和辞典」、「博友社露和辞典」、「岩波露和辞典」のうちから一冊を購入してください。</p> <p>ちゅういじこう 必ず予習をして、積極的に授業に参加すること。 注意事項 必ず予習をして、積極的に授業に参加すること。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時間	定員	授業内容
ロシア語 Level 2b	やまざき 山崎タチアナ	金(4)	20	<p>ほんじゆぎよう もくてき 本授業の目的およびねらい</p> <p>ロシア語の初級文法をすでに習得した学生を対象とし「習うロシア語から使うロシア語」を指向する科目である。さらに高度な文法知識を得ると同時に、生のロシア語に実践的に対応できるような運用能力を養成する。したがって、口頭表現力、聴解力を養成するための授業ではできるだけロシア語を用いる。また、言語文化Iあるいはロシア語 Level 1に引き続き、さらにロシア語世界の理解を深める。目標は「ロシア語を活かす」である。</p> <p>りしゅうじようけん かんれん かもくとう 履修条件・関連する科目等</p> <p>ロシア語の基礎コースを修了した学生、大学院生、教員等。</p> <p>じゆぎようないよう 授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ロシア語のレッスンにて「頻繁に使われる名詞と動詞の類義語を覚える」(モスクワ出版 中級ロシア語教科書のプリント使用、以下同じ) 再帰動詞「自動詞、他動詞、受動詞の習得と活用」 時の表現、その1「日常会話にみる時間の言い回し、年、月、週、日など」 時の表現、その2「練習問題を通して時間の言い回しの習得と活用」 時の表現、その3「平日と休日の過ごし方、小テキスト及び小話を読む」 ロシアの諺「接続詞「～の間に」の活用」 因果関係の表現、その1「～の所為で、～お陰で、という表現」 因果関係の表現、その2「練習問題を通して因果関係の表現の習得と活用」 目標の表現「接続詞「～をするように、～のために」の活用」 条件の表現「単文と複文の場合」 譲歩の表現「～にも関わらず、という言い回しの活用」 諺と名句「目標の表現の活用」 仮定法、その1「小話にみる仮定法の活用」 仮定法、その2「練習問題を通して仮定法の習得と活用」 授業の総括 <p>すべての授業はウォーミングアップのやり取りをもって進行します。</p> <p>せいせきひょうかほう かいほう さいまつ しけん へいじようてん しょう 成績評価方法 期末試験60%、平常点・小テスト40%</p> <p>きょうかしよ はいふ 教科書 プリント配布</p> <p>さんこうしよ さんこうしよ じゆぎようちゅう しじ ろわじてん かくしゅうしよ こじてん 参考書 参考書は授業中に指示する。露和辞典は、「博友社ロシア語辞典」、「岩波ロシア語辞典」、「研究社露和辞典」の中から一冊を購入すること。</p> <p>ちゅういじこう ちゅういじこう 注意事項 ロシア語の文法表を必ず持参すること。</p> <p>じゆぎよう ちゅういじこう 受講者へのメッセージ 隣国、隣国を知るには先ずその言葉を理解することが重要です。受講生は、間違いを恐れずに積極的に授業に臨むことを期待します。難しい文法を一つ一つ解きながら、中級ロシア語をマスターすることを目指しましょう。</p>
ちゅうごくご 中国語 Level 1b	か のう ひかる 加納光	水(2)	20	<p>ほんじゆぎよう もくてき 本授業の目的およびねらい</p> <p>中国語 Level 1b は、中国語 Level 1a の継続であり、教科書も中国語 Level 1a で用いた教科書を引き続き使用する。中国語の普通話の発音の習得に重点を置きながら、初級中国語で求められる読解力、文章力、会話力等の総合的な基礎学力の養成を目指す。</p> <p>りしゅうじようけん かんれん かもくとう 履修条件・関連する科目等</p> <p>院生及び教職員も受講の対象とする。中国語 Level 1a を継続するものである。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授業内容
中国語 Level 1b	か 納 光	水(2)	20	<p>授業内容 中国語 Level 1b では、中国語 Level 1a で習得した411の音節の発音を確認しながら、中国語の初級段階で学べき基礎的な文法事項を順次学習する。中国語のさまざまな文法項目の学習を通して、中国語の表現上のさまざまな特徴についての理解を深めてゆく。</p> <p>具体的な授業内容は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 名詞述語文、構造助詞 ほか 2. 結果補語、アスペクト助詞 ほか 3. 婉曲表現、代動詞 ほか 4. 動詞の重ね型、方向補語 ほか 5. 所在表現、様態補語 ほか 6. 比較表現、接続詞 ほか 7. 不定代名詞、助動詞 ほか 8. 疑問詞、主述述語文 ほか 9. 前置詞、謙語文 ほか 10. 概数表現、副詞のいろいろ ほか 11. 複合方向補語 ほか 12. まとめ・復習 <p>成績評価方法 平常点 [出欠席、授業態度] (50%) と期末試験 (50%) による。</p> <p>教科書 『ようこそ、中国語の世界へ』 加納光・白木通・成戸浩嗣 (白帝社)</p> <p>参考書 必要に応じ授業で紹介する。</p> <p>受講者へのメッセージ 授業上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の予習・復習を欠かさずに、楽しく学んでください。 ・普段から中国語に親しむ習慣を持ってください。
中国語 Level 2b	まえ だ みつ 光子	月(3)	20	<p>本授業の目的およびねらい</p> <p>この授業は日本人講師による講読を中心とした授業であり、より高度な読解力の養成を目的とする。</p> <p>中国語の初級(発音・文法事項等)をすでに習得した学生を対象とし、さらに高度な文法的知識を得、それを確実に身につけると同時に、現代中国についての理解を深める。</p> <p>履修条件・関連する科目等</p> <p>中国語または中国に対して興味を持ち、且つ学習意欲が旺盛であること。中国語の初級(発音・文法事項等)を習得していること。</p> <p>授業内容 中国語中級の読み物を中心としたテキストを用いる。以下のようなテーマについて書かれたテキスト本文を、これまでに習得した単語・文法事項、同時に発音を確認しながら正確に読解し、現代中国についての理解を深める。</p> <p>初回は、授業説明及び初級文法のポイントの復習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の平等 2. 就職難 3. 若者の結婚恋愛観の変化 4. ローン奴隷 5. 多くの個人投資家 6. 都市の消費ブーム 7. 考碗族 8. 家政婦 9. 民は食をもって天となす 10. 「80後」と「子供を育てて老後に備える」 11. 老後の危機 12. 中国におけるボランティア活動 <p>原則として一回に一課をこなし、学び終えたものについては次回必ず復習を行なう。そうすることによってさらに高度な文法的知識やより多くの語彙を確実に身につけ、使えるものにしていく。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 日限	定員	授業内容
中国語 Level 2b	前田 光子	月(3)	20	<p>成績評価方法 平常点(出席・授業態度・課題など): 期末試験 = 8 : 2</p> <p>教科書 『変化する中国』 孟広学・本間史(白水社)</p> <p>参考書 必要に応じて授業時に指示する。</p> <p>注意事項 履修希望者は第一回目の授業に必ず出席すること。毎回の復習をきちんとこなすなどの積極的な授業態度を求める。 (※前期の授業との内容の関連性はありません。)</p>
スペイン語 Level 1b	A.Villalobos	水(4)	20	<p>本授業の目的およびねらい 前期に続き、スペイン語の基本的な文法を学び、一通りの文法の知識を得る。同時に、簡単な会話や日常的な表現を身につけるべく練習する。前期は、現在時制、及び、過去時制が中心であったが、これに現在完了、未来などの時制を加え、さらに広い範囲の出来事・事柄を表現できるようにする。接続法や命令法なども学び、スペイン語検定では6級、5級、4級くらいまで受験できる実力をつける。また、テキストに沿って、スペインやラテンアメリカの人々の暮らしぶり、文化、ものの考え方を紹介し、スペイン語が話されている国々に対する学生の皆さんの興味を喚起する。</p> <p>履修条件・関連する科目等 初級スペイン語の前半を終えるくらいまでの文法の知識を必要とする。</p> <p>授業内容 LECCION 8 「外国人コースの授業での会話」及び、点過去、前置詞。 LECCION 9 「キャンパスの中庭での会話」及び、点過去不規則動詞、疑問詞。 LECCION 10 「大学の喫茶店での会話」及び、線過去の活用と用法。 LECCION 11 「休暇あけのキャンパスでの会話」及び、天候表現、存在文、不定語・否定語。 LECCION 12 「街の喫茶店での会話」及び、現在分詞、曜日、手紙の書き方、メール。 LECCION 13 Te he buscado por todas partes. 過去分詞、現在完了形、関係代名詞、建物の呼称。 LECCION 14 Fue escrito por Soseki. 受動態、再帰動詞、身体の部位の呼称、職業に関する用語。 この授業では過去時制の用法を中心に扱う。 時間があれば、未来時制、命令形、接続法などに触れる。</p> <p>成績評価方法 出席(10%) 課題(15%) 試験(75%) 試験は、筆記あるいは口述の形式で行う。受講者の習熟度により、教員が形式を選択する。</p> <p>教科書 Español vivo 朝日出版社 福島教隆 参考書 辞書 現代スペイン語辞典 白水社 注意事項 辞書に関しては、上記のものに限られません。目的、これからの学習の方向に従い、個人が使い易いものを選んでください。より安価な小事典でも、電子辞書でもかまいません。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時間	定員	授業内容
スペイン語 Level 1b	A.Villalobos	水(4)	20	<p>受講者へのメッセージ 学生の中には、授業にしっかりと出席し、積極的に学習に取りくむ姿勢を期待する。語学の授業であるため、他の学生との会話のやりとりなども、実践的な力をつけるためには効果を発揮するからである。社会に出てから新たに新しい言語の習得を目指すには、時間的にも経済的な面でも余裕がなければならない。学生時代に、できるだけ多くの言葉の学習に取り組みすることは、将来のために大変に有益であることは間違いない。</p> <p>地球には多くの種類の言葉が存在する。そのことは、メキシコの新進鋭の映画監督アレハンドロ・ゴンザレス・イニャリトウの作品『バベル』の中に見られるように、人々の間に誤解や軋轢、また不幸な場合には暴力的な衝突をも生むことになる。知恵を持つ人間は、言葉を駆使し、豊かに感情を表現し、なんとしても、そうした軋轢や衝突を避けなくてはならない。言葉を間違いなく、正確に、そして思いを込めて使うことが、国と国、人と人との柔軟で、ざらつきの無い関係を築く上で重要な役割を果たすのである。まず、母国語を大切に美しく使い、表現を磨くよう、努めることである。その上で、さらに、他の言語を学び、実際にその国の人々とコミュニケーションをとり、その国の文学作品や歌、映画に触れる。それは、自身の世界を広め、豊かにするだけでなく、グローバル化する世界の積極的な一員となることを可能にするのである。</p> <p>多くの言葉の存在は、世界を複雑化し、人々の間に溝を作る一方で、この世界に多様な様相を与えるものである。言葉によって、それを話す人々の表情、ものの考え方、生活の仕方までも変わる。歌の旋律さえも異なる。それは、この世界の豊かさの表れでもある。他の言語を学ぶことが、彼らの考え方、生き方を知る第一歩となり、世界の多様性に触れる助けとなることは間違いない。</p>
スペイン語 Level 2b	かわた 玲子	木(4)	20	<p>本授業の目的およびねらい 一年次又はスペイン語 Level 1 で身につけたスペイン語の知識をもとに、スペイン語力のさらなる向上を目指す。</p> <p>履修条件・関連する科目等 第I・II期のスペイン語 1・2・3・4 またはスペイン語 Level 1a・1b の授業を終えている、もしくはそれに相当する基礎知識を有すること。</p> <p>授業内容 この授業では、初級文法知識を有する参加者を対象に講読および会話練習をおこなう。ラテンアメリカに関する紹介文を読んだ上で、質疑応答をおこない、スペイン語力とラテンアメリカ文化に関する知識を高めていく。</p> <p>全員参加で質疑応答をおこなうので、配布されたスペイン語文を予め読んでおくことが最低限必要な条件となる。講読文に関して文法説明の必要があれば、その都度柔軟に対応する。その他、日常会話でよく使うスペイン語特殊表現もその都度紹介していく。</p> <p>受講者のスペイン語レベルやラテンアメリカに関する情報量が異なることが想定されるので、授業運営方法に関しては、受講者の状況を見て適宜対応する。</p> <p>なお、毎回の復習として、最後に簡単な作文を書く。</p> <p>成績評価方法 出席、授業への積極的な参加、定期試験(70%)など総合的に評価する。</p> <p>教科書 教官が必要資料を予め配付する。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時間	定員	授業内容
スペイン語 Level 2b	かわ た 玲子 川田 玲子	木(4)	20	<p>さんこうしょ すさとじゅんべいちょ こ ひょうげん とうようしょてん すさとじゅんべいちょ おうよう 参考書 寿里順平著『スペイン語の表現』東洋書店、寿里順平著『応用 スペイン語文法』東洋書店 高橋覚二著『スペイン語表現ハンドブック』 はくすいしゃ たかはしかくじ ちょ き そ こびんらん ひょうろんしゃ みやもとひろし 白水社、高橋覚二著『基礎スペイン語便覧』評論社、宮本博司著『スペイ ン語分類単語集』大学書林、やまだよしろうかんしゅうちゅうきゅう 語分類単語集』大学書林、山田義郎監修『中級スペイン語文法』白水社 注意事項 毎回西和辞典を持参すること。</p> <p>受講者へのメッセージ スペイン語のテキストを見ていると面白いことに 気づく。著者が日本人である場合、テキストの全ページで調子を崩すこと がない。ところがスペイン人あるいはラテンアメリカ人(担当教官の関 係でこの場合は「メキシコ人」)のテキストでは、突然調子が変わる場合 がある。</p> <p>例えば、Lecturaで日本人学生がバルセロナ大学でスペイン芸術やスベ イン史を学んでいることが話題になっているとしよう。Lecturaに続いて その日本人学生に関連する質問が並ぶ。「太郎君はどの大学で学んでいま すか。」「その大学はどこにありますか。」などテキストに書かれている内 容についての質問である。ネイティブのテキストでは、これらの質問の間 に、突然、「君はどこで学んでいますか。」「君は何を学んでいますか。」 と解答者自身に対する質問が飛び込んでくる。質問された学生は頭の中で クエスチョン・マークが飛び交うのであろう。「自分のことを答えるので すか」ときょとんとした顔をする。これは著者の勘違いではない。解答者 に自身のことを答えさせるといふ、現実の会話への誘導である。そう、テ キストからラテンの気質が伝わってくるのだ。</p> <p>私自身がこういった雰囲気慣れてるためか、時々このたぐいの質問 をする。例えば、テキストでは○×さんに関する質問なのだが、突然、「と ころで、君は～?」となるのである。これをいい加減と受け取る学生もい るようだ。日本の感覚からすると、不真面目に映るのであろう。しかし、 所変われば品変わるである。スペイン語圏では、取り立てて不思議では ないのだ。</p> <p>¡Disfrutemos en la clase?</p>
朝鮮・ 韓国語 Level 1b	きむ うわん よん 金 元 榮	金(3)	20	<p>ほんじゅぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい あら ちょうせん かんこくご なら がくせい いまいち ど き そ なお 新たに朝鮮・韓国語を習う学生ばかりでなく今一度基礎からやり直したい がくせい たいしやう ちょうせん かんこくご き そ まな かもち 学生も対象とする、朝鮮・韓国語の基礎を学ぶための科目である。</p> <p>バランスよく朝鮮・韓国語を学べるよう、基礎文法の学習だけではなく日 じょうかい わ れんしゅう へい い おんしやう こうどく おこ あわ ふん か ふうぞく れきし 常 会話の練習や平易な文章の講読も行なう。併せて、文化・風俗・歴史・ しゃかい じじやう はいきていき ちしき がくしゅう ちょうせん かんこくご せ かい じやう 社会事情など背景的知識を学習することにより朝鮮・韓国語世界の諸相を り かい こくさいてきしや かんやう はか いっぽ もくひやう ちょうせん かんこくご ふ 理解し、国際的視野の涵養を図る一歩とする。目標は「朝鮮・韓国語に触れる」 である。</p> <p>りしゅうじやうけん かんれん かもちとう 履修条件・関連する科目等 ちょうせん かんこくご けいぞく そうおう じゅんび こうき 朝鮮・韓国語 Level 1a からの継続であるが、相応の準備があれば後期か らでも受講可。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時間	定員	授業内容
朝鮮・ 韓国語 Level 1b	金 元 榮	金(3)	20	<p>この授業では次のような能力を養成する。</p> <p>書記法・発音…ハングルで書かれた文章を確実に読めるようにし、簡単な文章をハングルで正しく書けるようにする。</p> <p>文法…基礎的文法を学習する。日本語話者にとって韓国語の文法事項のうち最も重要なものは用言の活用であるので、この点に重点を置いて学習する。学習する主な文法事項は次の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語基の作り方と使い方 ・不規則活用 ・機能別の文種 (命令文・禁止文・勧誘文・感嘆文) ・可能否定文 ・過去形 ・進行形 ・可能文 ・願望形 ・緩叙形 ・連体形 ・基本的な接続表現 (「～して」「～するが」「～すれば」「～するの で」「～しながら」などに相当するもの) ・文体 (くだけた丁寧体) ・話し言葉の特徴 <p>口頭表現力…上の文法事項を含む文章を使って簡単な会話ができるようにする。</p> <p>成績評価方法 出欠状況、小テスト及び期末試験の成績により総合的に評価する。ただし、期末試験の成績が総合成績に占める割合は6割程度とする。</p> <p>教科書 朝鮮・韓国語 Level 1a で用いた教材と同じ。</p> <p>参考書 必要なものは授業中に指示する。</p>
朝鮮・ 韓国語 Level 2b	鄭 芝 淑	火(4)	20	<p>本授業の目的およびねらい</p> <p>朝鮮・韓国語の初級文法をすでに習得した学生を対象とし「習う朝鮮・韓国語から使う朝鮮・韓国語」を指向する科目である。さらに高度な文法的知識を得ると同時に、生の朝鮮・韓国語に実践的に対応できるような運用能力を養成する。したがって、口頭表現力、聴解力を養成するための授業ではできるだけ朝鮮・韓国語を用いる。</p> <p>また、言語文化Iあるいは朝鮮・韓国語 Level 1に引き続き、さらに朝鮮・韓国語世界の理解を深める。目標は「朝鮮・韓国語を活かす」である。</p> <p>履修条件・関連する科目等</p> <p>言語文化Iあるいは朝鮮・韓国語 Level 1a を履修した者を対象とするが、相応の力があればこれらを履修していなくても構わない。ただし、受講申請時に担当教員に相談すること。</p> <p>授業内容 この授業では朝鮮・韓国語 Level 1あるいは言文Iの学習を通じて得た文法的知識に基づく口頭表現力および聴解力の養成を目指す。授業はできるだけ韓国語を用いて行い、「習うより慣れよ」の原則に従って学習する。発音や文法にこだわらずに、言いたいことを現在の能力を駆使して表現する姿勢と能力を養う。対話の相手が誰であるかに応じた異なる文体の表現を使えるようにする。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時間	定員	授業内容
朝鮮・ 韓国語 Level 2b	鄭 芝 淑	火(4)	20	<p>学習事項は、次のような表現形式である。(ただし、順不同。時間の都合により項目の出し入れもある)</p> <ol style="list-style-type: none"> 自己紹介…他人に自分を紹介するための基本的な表現形式を学習する。 紹介…他人を紹介するための様々な表現形式を学ぶ。 出会いと別れ…様々な出会いと別れの場面に用いられる表現を学習する。 約束…人と何かを約束するとき用いる表現を学習する。 道聞き…人に道を尋ねるときに使われる代表的な表現形式を学ぶ。 電話…電話での対話の基本形式に習熟する。 宿泊…宿泊の予約や宿泊施設内での対話に用いられる表現を学習する。 病院で…診療の際の医師との対話に必要な表現を学習する。 食堂で…食堂で料理を注文するなど従業員との対話に使われる表現を学習する。 ノレバンで…カラオケに行って歌を楽しむ時の対話を学習する。これについては、受講者の希望があれば実際にカラオケで行うかも知れない。 <p>成績評価方法 出席状況、平常点、期末試験の成績により総合的に評価する。期末試験は韓国語による面接試験とし、その評価に占める割合は6割程度とする。</p> <p>教科書 プリント教材。</p> <p>参考書 必要な物は授業中に指示する。</p> <p>注意事項 日韓辞典を必ず用意すること。</p>
朝鮮・ 韓国語 Level 2b	飯田 秀敏	火(5)	20	<p>本授業の目的およびねらい 朝鮮・韓国語中級の授業などを通じて文法の基礎をすでに習得しある程度の読解能力を持つ者が、さらに高度な実践的読解能力を養成するための授業である。文法的理解は前提としつつも精読よりは多読に重点を置く。</p> <p>履修条件・関連する科目等 前期のLevel 2aからの継続授業であり、受講者は中級韓国語をすでに履修していることが望ましいが、相応の力があれば後期からの受講も可能である。</p> <p>授業内容 授業は次の要領で行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 授業は演習形式で行う。受講者全員にテキストの担当箇所を割り当て、分担者は授業において担当箇所を音読し意味内容の解説を行う。教員および他の受講生は随時質問しコメントを加えることとする。 担当者は授業に先立って定められた期日までに担当箇所の日本語訳を教員までメールで送る。教員は日本語訳をチェックした後、受講者全員にメールで配信する。受講者はそれをプリントアウトし、あらかじめ目を通した上で授業に持参する。 その後の授業は、メールで配信されるテキストに基づいて行う。 韓国語の読解力をつけるには、文法的知識と語彙力との両方を養わなければならない。語彙力に関しては、特に漢字語に力点を置いて学習する。そのために、授業予定箇所に現れる漢字語彙に関する補助教材を、日本語訳の配信と同時に教員から受講者全員に配信する。 テキストには、主として法頂禪師のエッセイを用いる。

授業科目	担当教員	曜日・ 日限	定員	授業内容
朝鮮・ 韓国語 Level 2b	飯田 秀敏	火(5)	20	<p>成績評価方法 平常点および期末試験により総合的に評価する。期末試験の占める割合は6割程度とする。</p> <p>教科書 テキスト、および補助教材は原則としてメールで配信する。</p> <p>参考書 必ず日韓辞書を購入しておくこと。</p> <p>注意事項 メールで教材のやりとりをするのでメールが使えるようにしておくこと(携帯メールは不可)。事情によりできない場合は、あらかじめ教員に知らせること。</p>
ポルトガル語 Level 1b	重松 由美	金(2)	20	<p>本授業の目的およびねらい</p> <p>本授業は、初めてポルトガル語を習う人だけでなく、あらためて基礎から学び直したい人も対象としている。授業の目的は、ブラジルポルトガル語の発音及び基礎的な文法事項を学び、基礎的な会話力を身に付けることである。受講者の関心に応じてブラジルの文化や生活習慣の紹介、在日ブラジル人に関する情報も提供していきたい。</p> <p>授業内容 ポルトガル語 Level 1の授業は、基本的にはテキストに基づいて進めていくが、DVDやインターネットなどの映像も用いる予定である。ブラジルポルトガル語の基礎的な文法事項を徹底的に習得できるように、特に口頭での練習問題を繰り返し行い、基礎的な会話力を身に付けていく。また、身の回りにあるポルトガル語(公共施設やスーパーなどでの標記など)を通して在日ブラジル人の状況を紹介していきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アルファベット、発音 2. 主格人称代名詞 3. 名詞、冠詞 4. 指示詞 5. ser 動詞 6. 疑問文、否定文 7. 所有形容詞 8. 形容詞 9. estar 動詞 10. ser 動詞と estar 動詞の違い 11. 疑問詞 12. 定冠詞と前置詞の縮合形 13. 直説法現在形規則活用動詞 (1) 14. 時間表現 15. 定期試験 <p>成績評価方法 授業への参加態度と定期試験の結果が総合的に判定される。</p> <p>教科書 プリントを配布します。</p> <p>参考書 葡日・日葡辞書が必要である。</p> <p>参考 『現代ポルトガル語辞典改訂版』池上岑夫他編、白水社。 『デイリ-日葡英・葡日英辞典』三省堂編修所。</p> <p>注意事項 毎回、辞書を持参すること。</p> <p>受講者へのメッセージ 私はスペイン語を習得後にブラジルポルトガル語を学んだため、両言語の相違点や共通点を理解している。そのため、スペイン語既習者には効果的な説明ができるでしょう。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時間	定員	授業内容
ラテン語 Level 1b	ありかわ かん たろう 有川 貫太郎	木(4)	20	<p>ほんじゆぎよう もくてき 本授業の目的およびねらい ラテン語をなるべく現代の外国語のように学ぶ、というのがこの授業のコンセプトである。古典語の学習はかなりの量の語形変化の習得を伴うが、日常使われる言葉として学んでいくことによってその負担をあまり意識せず息長く続けることをめざす。前期に引き続き、リーダーによって古代ローマ市民の生活を描いたラテン語に触れる。同時に文法書によってラテン語の構造の概略を学ぶ。ラテン語を学ぶことは、文系理系を問わず、西欧文明の基底に触れる機会になるだろう。</p> <p>りゅうじゆうじょうけん かんれん か もくどう 履修条件・関連する科目等 関心のある人は自由に参加してください。ただし、参加した以上は休まないことが大切です。</p> <p>じゆぎようないよう だい ぶんさふ こうはん よ すす 授業内容 第1分冊(ユニット1)の後半を読み進める。テーマとしては劇場、公衆浴場、剣闘士競技、選挙、学校などが扱われる。そして最終章ではヴェスヴィオス火山の爆発が市民を襲う。カエキリウス一家の運命は？</p> <p>ぶんぼうしよ こうはん こけいへん か しだい ぶん こうせい あつ 文法書の後半は語形変化から次第に文の構成も扱われる。</p> <p>せいせきひょうかほうほう きまつしけん しゅつせき 成績評価方法 期末試験60%、出席40%。</p> <p>きょうかしょ 教科書 1) CAMBRIDGE LATIN COURSE UNIT 1 (North American edition) 2) 中山恒夫「標準ラテン文法」(白水社)</p> <p>さんこうしょ じゆぎようしょうかい 参考書 授業で紹介する。</p> <p>じゆこうしゃ へい じじょう とちゅう な だ 受講者へのメッセージ 始めた以上は途中で投げ出すことなく、いつの日か自分の力でユニット5まで進んで、ヴェルギリウスの「アエネーイス」を読んでほしいものです。</p>
古典ギリシア語 Level 1b	ありかわ かん たろう 有川 貫太郎	木(5)	20	<p>ほんじゆぎよう もくてき 本授業の目的およびねらい 古典ギリシア語をなるべく現代の外国語のように学ぶ、というのがこの授業のコンセプトである。前期に引き続き、リーダーによって次第に複雑な表現を含む文章に多くふれていく。同時に文法書によって古典ギリシア語の骨格を学ぶ。</p> <p>りゅうじゆうじょうけん かんれん か もくどう 履修条件・関連する科目等 関心のある人は自由に参加してください。ただし、参加した以上は休まないことが大切です。</p> <p>じゆぎようないよう かくしやう てきぎせんたく すす べんめい 授業内容 リーダーは各章を適宜選択して進み、「ソクラテスの弁明」や「雲」などの喜劇をアレンジした章を読む。編者の巧みなアレンジにより、次第に原文の比重が増している。いつのまにか、プラトンやアリストパネスの原文に触れているのである。文法書は後半部分に進む。個々の「樹」とともに、文法の「森」のどのあたりにいるのかをいつも意識して学習してほしい。</p> <p>せいせきひょうかほうほう きまつしけん しゅつせき 成績評価方法 期末試験60%、出席40%。</p> <p>きょうかしょ 教科書 1) Reading Greek:Text and Vocabulary (second edition) 2) 田中美知太郎「ギリシア語文法」(岩波書店)</p> <p>さんこうしょ じしよ じゆぎようしょうかい 参考書 辞書などを授業で紹介する。</p> <p>じゆこうしゃ へい さいしゆうしやう さいしゆうしやう 受講者へのメッセージ この教材の最終章、section 20は「オデュッセイア」の第6巻、ナウシカアの物語である。2期の授業ではそこまで進むことはできないが、自習していつの日か、ホメロスの原文を味わってほしい。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時間	定員	授業内容
アイヌ語 Level 1	小坂 光一	木(3)	20	<p>本授業の目的およびねらい ここでは「母語以外の言語」という意味で、便宜上「外国語」扱いをしている、と理解していただきたい。 日本は単民族国家だ、とか、日本には日本語しかない、といった観念を捨てること、いろいろな言語に触れることが授業の目的である。日本にも日本語以外の言語があることを再認識する。</p> <p>履修条件・関連する科目等 もっぱら口頭練習をするので、毎回授業に参加できることが履修の条件となる。</p> <p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 今、アイヌ語を日常語として使用している人はいない。アイヌ語を話せる人はいるが、彼らも日常においてアイヌ語を使ってはいない。これは社会的な問題も原因している。従って、アイヌ語は消え行く運命にあるのかもしれない。しかし、私はこの言語を滅亡させたくはない。それが避けられないならばせめて消滅の時期を遅らせたい。この授業はそういう気持ちを込めて開講されている。 アイヌ語は構造的に日本語と似ている面がある。一方朝鮮・韓国語に似ている面もある。そういう意味で言語学的には非常に面白い言語である。また、書き言葉を持たなかったアイヌ語から学ぶべき点も多々ある。 この授業ではアイヌ語会話入門とでも言うべき授業をしたい。しかし、担当者(小坂)自身、アイヌ語の専門家ではないので、むしろ受講者の方々と共に勉強したいと思っている。 アイヌ語会話と言っても、会話の機会・相手を見つけることは至難の技であるから、アイヌ語を学んでも、言語学を専門とする人以外、実用にはならないだろう。しかし、実用を目的としない言語学習や「外国語」以外の未知言語の学習もあっていいのではないだろうか。 授業ではアイヌ語を概観しながら、もっぱら口頭練習をする。 授業での積極性、授業への貢献度、学習成果により成績評価する。 <p>成績評価方法 授業に対する平常の貢献度(30%)、授業中の積極性(40%)、普段の口頭表現のできばえ(30%)。ただ参加するだけでは良い評価は得られない。</p> <p>教科書 『CD エクスプレス アイヌ語』(白水社)及びプリント教材</p> <p>参考書 田村すず子：沙流方言アイヌ語辞典(草風館) 中川 裕：千歳方言アイヌ語辞典(草風館) 萱野 茂：萱野茂のアイヌ語辞典(三省堂)(いずれも高価ですが、授業のためには不要です)</p> <p>注意事項 授業に来たり来なかったりする人、ただ出席して聞いているだけの人は絶対にお断りします。</p> <p>受講者へのメッセージ 実用を目的としない言語学習になりますが、大いに勉強してください。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 日時限	定員	授業内容
イタリア語 Level 1b	A. Sciucca	水(4)	20	<p>ほんじゆぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい 旅行、留学などでイタリア滞在を考える学生に基本的な会話表現を習得してもらい、イタリア理解の入り口を提供することをねらいとする。具体的には、空港、ホテル、買物などの場所において自分の要求を伝えるのに必要な表現を自在に使い、それに対して予測される返答を確実に理解することをはじめ、最終的には、様々な場面におけるイタリア人の思考・行動の特性を感じ取るための言語的な基盤を作ることを目指す。</p> <p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イタリア語 Level 1a の復習 2. 補語代名詞と過去分詞 3. 指示形容詞 4. 命令形 (essere / avere 動詞) 5. 命令形 (規則動詞・再起動詞) と否定命令 6. 半過去 (essere / avere 動詞) 7. 半過去 (規則動詞) 8. 近過去と半過去の相違、所有形容詞 9. 単純未来 (essere / avere 動詞) 10. 単純未来 (規則動詞・不規則動詞) 11. 現在進行形 (ジェルンデイオ) <p>* 随時、映画や TV 番組の中から会話を抜粋し、生きたイタリア語表現に触れるとともに、イタリア人の価値観や志向、行動様式などについて考える機会を与える。</p> <p>* 中間期にミニテストを実施する。</p> <p>成績評価方法 期末テスト60%、中間ミニテスト20%、出席状況・履修態度20%</p> <p>教科書 Loredana Chiappini & Nuccia De Filippo 「Un giorno in Italia」 vol.1 (L'italiano per stranieri: Bonacci editore)</p> <p>参考書 必要に応じて授業で紹介する。</p> <p>注意事項 イタリアは深い歴史と文化を持った国です。表層的なイタリア理解に終わらぬためにも、熱意を持って授業に取り組んで下さい。</p>
ベトナム語 Level 1b	金村 久美	月(5)	20	<p>ほんじゆぎょう もくてき 本授業の目的およびねらい ベトナムは、近年めざましい発展を遂げる新興国の一つに数えられています。日本と距離的に近く、文化的にも似た部分があり、日本人にとってはますます身近な国になってきています。みなさんの中には、これからベトナムに旅行したり、ベトナムについて研究をしたり、あるいはベトナムで仕事をするようになる方もいるかもしれません。この授業は、ベトナム語を通してベトナムを知り、親しく感じてもらえるようになることを目的とします。入門ですので、学習経験は不要です。課題も多くな、楽しく授業にしたいと思います。好奇心や興味に従って、気楽に受講してみてください。</p> <p>履修条件・関連する科目等 ありません。(前期を受講していなくてもいいです。)</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時間	定員	授業内容
ベトナム語 Level 1b	かなむら 久美	月(5)	20	<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) テキスト「日本人のためのベトナム語の発音レベル2」に従い、声調の連続に慣れ、ベトナム語らしく意味の通じやすい発音を身につけます。 2) ベトナム人と知り合い、友達になるのに必要なことばの知識（自己紹介、趣味、好み、誘いかけ…）を学び、会話の実践練習をします。 3) ベトナム人と知り合うために知っておくべき習慣、行事、生活様式を紹介しします。 <p>授業方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通じやすい発音の習得を目指し、発音の学習に一定の時間を割きます。 ・文法の学習は最小限にとどめ、実用的な聞き取り・会話スキルを中心に教えます。 ・ベトナム人と実際に話し合う機会を設け、学んだことを実践します。 ・ベトナム紹介においては、受講生の興味関心に対応し、主体的な学びを支援します。 <p>なお、留学生、職員の受講を歓迎します。</p> <p>また、授業内容は、受講する学生からの希望により調整します。</p> <p>成績評価方法 試験を実施します。成績評価は、出席50%、試験50%を予定しています。</p> <p>教科書 発音のテキストはクラスで配布します。その他に教科書は使用しません。</p> <p>参考書 辞書・参考書に代わるものとして、次の図書を手元に置くことを推奨します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・池田浩明（2006）「旅の指さし会話帳11ベトナム（ベトナム語）第二版」（情報センター出版局） ・「地球の歩き方ベトナム」（ダイヤモンド社） <p>注意事項 受講生参加型の授業とします。クラス内で動き、考え、話し合うことを楽しんでください。</p> <p>受講者へのメッセージ 学内にいるベトナム人留学生にも参加してもらいたいと思います。留学生の友達を作りたいと思っている方は、ぜひどうぞ。</p>